

## 来年のことをいうと鬼が笑うが・・・

厚生労働省 来年度予算で、貧困・ホームレス調査実施と

## 二段ベッドの夜間宿所から、生活保護の活用で胃の上へ

アナタ、そんな気の長い話、付き合いきれますか？

貧乏人にとっては、鬼が笑う来年より、今日が命

厚生労働省が、今後の貧困対策を考えるために必要だとして、低所得者やホームレスの生活の全容を把握する調査に取り組むための調査費を、来年度予算に盛り込むと決めた、と朝日新聞が伝えていきます。

来年のことをいうと鬼が笑うといいますが、アナタ、来年、調査対象者となって嬉し  
いでしょうか。調査は、日本全体にとって、社会保障制度の見直しのために必要なこと  
ですが、現に野宿し、あるいは夜間宿所を利用しており、または、明日のドヤ代が払え  
なくなるという人にとっては、あまりにも気の長い話に聞こえるでしょう。

調査費の予算請求で分かることは、厚生労働省が、今後の日本で貧困問題がもつと大  
きくなり、ホームレスが増え続けると考えているらしいということなのです。

先週木曜日午後5時頃、医療センターの前でビラ配りをしてしていると、20歳代後半  
しい男性が、「医療センターはどこでしょう」。話を聞くと、「4時半ころ、市更相に行っ  
たら、医療センターに行つて券をもらえといわれた、どういふことでしょう」というこ  
とでした。「それは、夜間宿所に泊まり、明日出直してきなさい」ということでしょうと  
伝えたが、確かに、新しく野宿を余儀なくされる人は増えているようです。市内でも、  
つい最近野宿するようになったという人は、昨年に比べ、四割り増しといわれています。  
にもかかわらず、6月の夜間宿所の一日当たり利用者数の平均は、昨年の825人よ  
り180人も少ない645人でした。釜に仕事があったから、利用者が減つたのでしよう

夜間宿所1日平均利用者数(月別)

|             | 1月    | 2月    | 3月   | 4月   | 5月   | 6月    | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  |
|-------------|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 2009(平成21)年 | 777人  | 685人  | 706人 | 806人 | 784人 | 645人  |      |      |      |      |      |      |
| 2008(平成20)年 | 610人  | 582人  | 644人 | 860人 | 855人 | 825人  | 632人 | 547人 | 630人 | 662人 | 727人 | 702人 |
| 前年より増減      | 167人増 | 103人増 | 62人増 | 54人減 | 71人減 | 180人減 |      |      |      |      |      |      |
| 前年との比較      | 1.3倍  | 1.2倍  | 1.1倍 | 0.9倍 | 0.9倍 | 0.8倍  |      |      |      |      |      |      |

大阪市立更生相談所敷金支給(窓口)月別状況

|             | 1月   | 2月    | 3月   | 4月   | 5月   | 6月    | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 合計   |
|-------------|------|-------|------|------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 2009(平成21)年 | 9件   | 152件  | 100件 | 193件 | 220件 | 307件  |     |     |     |     |     |     | 981件 |
| 2008(平成20)年 | 2件   | 14件   | 16件  | 36件  | 26件  | 16件   | 27件 | 21件 | 22件 | 14件 | 21件 | 37件 | 252件 |
| 前年との比較      | 4.5倍 | 10.9倍 | 6.3倍 | 5.4倍 | 8.5倍 | 19.2倍 |     |     |     |     |     |     | 3.9倍 |

か。そんなことはないということは、皆、よく知っていることですが、「センターだより」は次のように報告しています。

「現金（日払い）の求人は、08年後期からぐっと減ってしまっています。例年忙しいはずの年度末も増えませんでした。1日当たりの平均は、6月の場合、999人です。／千人を切るのはオイルショック以来30数年ぶり。契約（飯場・窓口）求人も、同じ様に激減しており、どん底のたいへん厳しい状態です。」

再び、にもかかわらず、夜間宿所の利用者は、4月の806人から、6月の645人へと、減っています。仕事量の関係や経済全般の状況からすれば、利用者が増えて当前のように思えますが、現実はそのようではない。逆に減っている。なぜでしょうか。

天候でいえば、昨年6月と今年6月で雨の降った日を見ると、今年のほうが2日ほど少ないようですが、その影響ででしょうか。夜間宿所の利用者は、毎年、暑さのせいでも7月、8月と減少する傾向を示していますが、今年は地球温暖化の影響で1ヶ月早く減少傾向が始まったと考えるべきでしょうか。

もう一つの数字、市更相から居室保護へと移行した人の数字を見ると、4月から6月にかけて急増していることが分かります。仕事が無くなり、例年なら野宿あるいは夜間宿所利用者となるしかなかった人や、これまで夜間宿所を利用していた人が、夜間宿所の列に並ぶのをやめ、市更相の列へ、そしてアパートへと移行したから減少したと考えることもできます。さて、正解は？

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも活用することができます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でないから受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

定額給付金申請書を手に入れた人で、現金支給希望の人は、郵送ではなく、直接、西成区役所へ提出してください。現金支払日は指定された日になります。通知が届きます。西成労働福祉センターに申請書が届くよう手続きした人は、必ず、窓口へ届いたかどうか確認してください。8月末までには、センター預かり分をゼロにしたいということです。

不動産屋さん紹介（気軽に相談を。しかし、真剣に）  
※ 双葉商事さん（電話~~06・6561・4392~~）  
鶴見橋商店街の奥（西の端）。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。  
※ フラップさん（電話~~06・6658・8888~~）  
26号線花園交差点、イズミヤの南6～7メートル。西成区以外の物件もあります。  
必ず、実物（部屋）を2～3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。